

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●オークスはラヴズオンリーユーが優勝

5月19日(日)に行われた優駿牝馬(オークス/G I)ではラヴズオンリーユー(牝3歳/栗東・矢作芳人厩舎)が優勝、重賞初挑戦初制覇をG Iの舞台で成し遂げました。無敗のままオークスを制したのはクリフジ、ミツマサ、ミスオンワード、カワカミプリンセスに続く史上5頭目の快挙で、4戦目でのオークス勝利はカワカミプリンセスと並ぶ最少キャリアタイ記録。また鞍上のミルコ・デム・ロ騎手(栗東・フリー)はこの勝利で史上10人目となる3歳クラシック完全制覇を達成しています。

### ●高橋文雅調教師がJRA通算100勝を達成

5月18日(土)の2回東京9日・第12レースではモアナが1着となり、同馬を管理する高橋文雅調教師(美浦)は、現役144人目となるJRA通算100勝(延べ1653頭目)を達成しました。

### ●難波剛健騎手がJRA通算100勝を達成

5月18日(土)の1回新潟7日・第1レースではオールマンリバーが1着となり、同馬に騎乗した難波剛健騎手(栗東・フリー)は、現役92人目となるJRA通算100勝(2076戦目)を達成しました。

### ●春の新潟リーディングは横山武史騎手

5月19日(日)をもって1回新潟競馬が終了し、この開催で7勝をあげた横山武史騎手(美浦・鈴木伸尋厩舎)が、自身初となる春の新潟競馬リーディングジョッキーに輝きました。

### ●小林徹弥騎手が引退

小林徹弥騎手(栗東・山内研二厩舎)が、5月20日(月)をもって引退しました。JRA通算成績は7637戦383勝で、今後は栗東・千田輝彦厩舎で調教助手となる予定です。

### ●ディープインパクト産駒が史上最速で1900勝を達成

5月18日(土)の3回京都9日・第5レースではダノンレグナムが1着となり、ディープインパクト産駒のJRA通算勝利数が1900勝となりました。サンデーサイレンス産駒に続くJRA史上2例目の記録で、産駒初出走の日から数えて8年10か月29日での1900勝達成は、サンデーサイレンス産駒の10年0か月17日を上回る史上最速の記録となります。

### ●ブラゾンドウリスの競走馬登録抹消

2017年黒船賞(高知・Jpn III)の勝ち馬ブラゾンドウリス(牡7歳/美浦・尾形和幸厩舎)は、5月17日(金)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績32戦6勝・地方2戦1勝で、今後は地方競馬に移籍する予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●のじぎく賞は地元の伏兵チャービル【各地の主要3歳重賞】

のじぎく賞(5月16日、園田、1700<sup>円</sup>、牝馬)は、中団から追い上げた7番人気のチャービル(父シニスターミニスター)がゴール前で差し切り勝ち。1番人気に推されたリリコは3着でした。ぎふ清流C(5月23日、笠松、1600<sup>円</sup>)は、2番手から向正面半ばで先頭に立った2番人気のフォアフロント(牡、父スターリングローズ)が、単勝1.1倍で圧倒的人気のアンタエウスに2馬身半差を付け、初の重賞制覇を果たしています。

### ●連覇を狙うサクセスエナジー、5月29日のさきたま杯(浦和)

さきたま杯(Jpn II、5月29日、浦和、1400<sup>円</sup>)は、昨年の覇者サクセスエナジー、キタサンミカツキ(船橋)、サンライズノヴァ、モーニン、ウインムートの順に有力視されます。

### ●ヤングジョッキーズシリーズは6月11日に金沢で開幕

2019ヤングジョッキーズシリーズのトライアルラウンドは、6月11日の金沢を皮切りに、全国11の競馬場で各2競走が実施されます。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1ブリークネスS～二冠目はウォーオブウィルが制す

米三冠の初戦にあたるG1ケンタッキーダービーの1～3着馬及び、1位で入線したものの走行妨害で17着に降着となったマキシマムセキュリティが不在というメンバー構成となった二冠目のG1ブリークネスS(3歳、ダート1900<sup>米</sup>)が5月18日にメリーランド州のピムリコ競馬場で行われ、3番人気のウォーオブウィル(牡3歳、父ウォーフロント)が内の4番手追走から直線で抜け出して1馬身1/4差で優勝。G1初制覇を果たしました。2着は12番人気の1勝馬エバーファスト。勝ったウォーオブウィルはデビューから4戦続けて芝を使われてG1でも2着に入りましたが、昨年11月にダートに転向して初勝利をあげると、今年1月のG3ルコントS(ダート1660<sup>米</sup>)と2月のG2リズンスターS(ダート1700<sup>米</sup>)も連勝。その後は2走前のG2ルイジアナダービーでスタート直後に後肢を捻るアクシデントがあって9着に終わると、続く前走のG1ケンタッキーダービーも4コーナーで不利を受けて7着に敗れていました。鞍上のT.ガファリオン騎手、管理するM.キャシー調教師はともにこのレース初制覇です。